

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	専修大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	センシュウダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	学外特別研修(経済学科対象)/特殊講義(国際経済学科対象)
	学部・研究科等名	経済学部・経済学科/国際経済学科
	担当教職員名・役職	清水 真志教授、西岡 幸一教授、宮寄 晃臣教授、金 榮徳准教授、徐 一睿准教授、谷ヶ城 秀吉准教授
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	19
	受入企業等数	19
	受入企業等名	公益財団法人川崎市産業振興財団,NPO法人農商工連携サポートセンター,株式会社価値総合研究所,株式会社バイテックホールディングス,川崎市役所,相模原市役所,特定非営利活動法人アジア太平洋資料センター,特定非営利活動法人太陽光発電所ネットワーク,認定特定非営利活動法人さいたまNPOセンター,サービス・ツーリズム産業労働情報開発センター,株式会社カテナクリエイト,株式会社生活の木,株式会社グローバルパワー,山崎製パン株式会社,株式会社ルネサンス,株式会社イー・コミュニケーションズ,タニコー株式会社,一般社団法人下仁田町観光協会
	インターンシップの分類	4.他県をまたぐ広域インターンシップ,5.低学年(大学1年次~2年次程度)からのインターンシップ,6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事,2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
要素②	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	夏期休暇中に、5~11日間程度、就業体験を実施している。
	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している,6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次~4年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	4単位
要素③	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	通年科目として前・後期に開講され、評価方法を公表した上で、担当教員全員での合議を経て成績評価を行っている。
	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	外部講師を招いた講習を複数回行う他、担当教員によるマナー指導や志望理由書の添削、パソコン研修を行っている。また、受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究については、各学生に発表させた上で、質疑応答までを行っている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	後期全体を使って、研修成果の発表会に向けての準備・指導を行った上で、受入企業の担当者を招いた発表会を開催している。発表会では、パワーポイントの使用が指定されている。
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	学生の出席を取っており、欠席者にはその都度確認を入れている。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている,3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	

④	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ実施前に志望理由書を作成させ、実施後に研修成果に関するレポートを作成させている。また、履修生全員分のレポートを毎年度冊子にまとめている。到達度に関しては、出席状況、発表やレポートの内容などを総合的に検討した上で、担当教員全員の参加する成績評価会議を経て測定されている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している。2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間～11日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間に加え、前期15回、後期15回の授業において事前・事後学習を行っている。
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している。3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップの意義について、自治体・民間企業・NPOなどから複数の外部講師を招聘し、講義を行っている。企業担当者に学生の業務状況についての評価表を作成してもらった上で、それを担当教員にフィードバックしている。研修成果の発表会には受入企業からの来賓の参加もあり、年間の成果をまとめた冊子は全受入企業に配布されている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://syllabus.acc.senshu-u.ac.jp/syllabus/syllabus/search/SyllabusInfo.do?nendo=2017&kogikemy=17244&setti=1https://syllabus.acc.senshu-u.ac.jp/syllabus/syllabus/search/SyllabusInfo.do?nendo=2017&kogikemy=17713&setti=1
問い合わせ先	大学等名	専修大学
	担当部署名	教務課(経済学部)
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	044-911-1257
	メールアドレス	ekyomu@acc.senshu-u.ac.jp